

## 事後評価シート

|              |   |
|--------------|---|
| 調査研究課題名      | ICカードを活用した都市交通のCRM戦略に関する調査研究<br>ITを活用したマルチモーダルな交通環境家計簿に関する研究  |
| 担当者          | 前主任研究官 野澤 和行、主任研究官 日原 勝也<br>研究官 小池 剛史   |
| 当初目標と目標達成度   | <p>個人の心理的要因に働きかけ環境に優しい交通行動を誘発することを目的に、ICカード等のITを活用した交通環境家計簿をWEB上に作成し、自動車から公共交通へ利用転換を促す実証実験を行った。1)地球温暖化への意識変化については、有意義な分析結果を得る事ができたが、2)地下鉄と自動車の利用状況の変化については、有意な結果を得ることができなかった。</p> |
| 調査研究内容の妥当性   | <p>ITを活用したTFP(Travel Feedback Program)は本邦初の取り組みであり、従来のTFPに比べ、ITを活用したTFPの方がより大きく意識を活性化する等、多くの知見を得ることができた。</p>  |
| 調査研究の仕組みの妥当性 | <p>交通行動変容を専門とする学識経験者や地方公共団体関係部局からなる「ITを活用した交通環境家計簿に関する研究会」を設置し、的確な意見を受けながら調査研究を進めることができた。</p>   |
| 成果と活用        | <p>学会などで研究成果を発表するとともに、今後の国土交通施策の検討に資する。</p>   |
| その他          | <p>PRI Review2004年夏季号に掲載し、関係者に配布予定。<br/>土木計画学研究発表会(2004年秋大会)にて発表予定。</p>   |
| 意見           |   |